

令和6年度 教育支援センター演習について

本演習は、新型コロナウイルス感染症の拡大をきっかけに、学内で参加できる基礎体験活動として代替的に開設しました。昨年5月8日に同感染症の感染症法上の位置付けが「5類」に引き下げられて以降、順次見直しを進めてきたところですが、「だんだん塾特別講演会（動画視聴）」と「学校現場概論」には有意義な面が多々認められることから、引き続き継続しているところです。ただし、今年度は認定時間を一部変更するため、下記の各項目について内容の確認をお願いします。

今年度も教育支援センター演習を積極的に活用し、教師力をさらに高めてほしいと願っています。

1 だんだん塾特別講義【全学部生対象】

- 内 容 学校現場や教育行政等の優れた実践者による講演会の動画視聴・レポート作成
- レポート提出 各月3本まで（「動画・講演会1本につき1回のレポート提出」が原則）
指定のレポート様式（文字数の基準：1200字以上）を使用すること
- そ の 他 1本につき3時間の認定
※ なお、年に数回対面で開催する「だんだん塾特別講義」に参加し、レポートを提出した場合は、5時間の認定とする。

2 学校現場概論「学校現場経験者の先生と語り合おう」【全学部生対象】

- 内 容 学校現場経験者との自由な語り合い（学校現場で求められている力や教職の魅力、学校現場の課題、学級経営のノウハウ、生徒指導、保護者対応等について）
教員採用試験や基礎体験活動等についての質疑・応答
- レポート提出 上限なし
指定のレポート様式（文字数の基準：400字以上）を使用すること
- そ の 他 語り合いの時間は、1回につき45分程度
1回につき5時間+αの認定

【申込み等について】

Moodleに掲載していますので確認してください。

- コースへの登録方法は自己登録となっています。登録キーは、4月中に学生番号のメールアドレス宛に送付します。
- 詳細は各コース内の「アナウンスメント」に記載してあります。
- 問い合わせは、教育支援センター（aces@edu.shimane-u.ac.jp）まで。